

# 大井第一

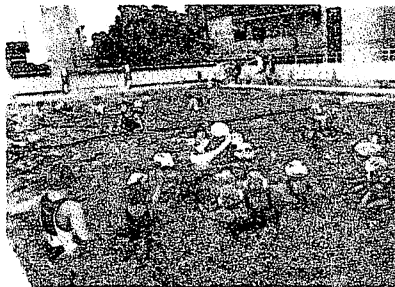
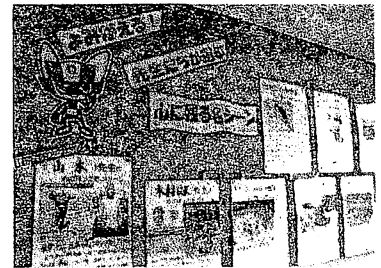


# 10月

## オリ・パラ教育 子どもたちの心の中にレガシーを

校長 木村 已典

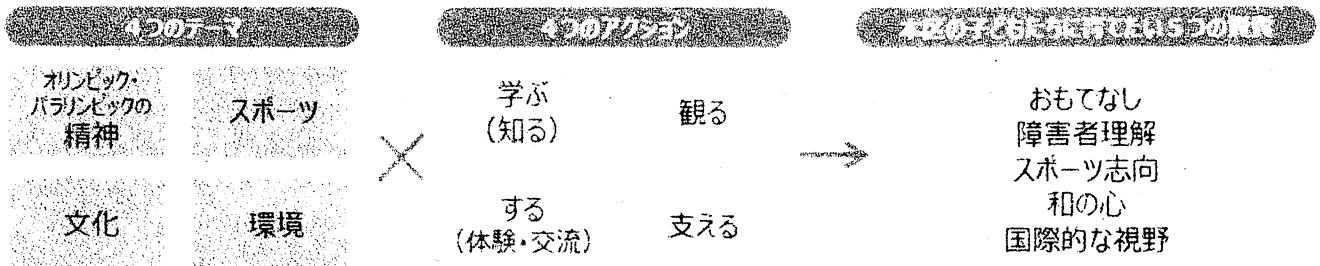
昨年は、正面昇降口に「Tokyo2020」の看板を掲げました。今年は、教員の夏休みの宿題として「オリンピック・パラリンピックの思い出」として、それぞれの記憶に残る名場面をまとめ、掲示しています。教員の年齢や興味のもち方によって、年代別に様々な種目が取り上げられ、2020年のオリンピック・パラリンピックへの期待が高まる楽しい掲示になっています。ご来校の折には、ぜひ、ご覧ください。因みに私は前回の東京オリンピック、女子バレーボールチーム「東洋の魔女」の活躍を選んだのですが、選手たちの活躍はその後の子どもたちの生活にもかなりの影響を



を与えています。バレーボールがブームになり、漫画「アタックナンバー1」も登場。子どもたちでも「回転レシーブ」「変化球サーブ」のまねごとをして楽しみました。バレーボールは、見るのもするのも楽しみなスポーツとなりました。運動の苦手な私でも、教員チームの大会で都大会に出場させていただいたことがあります。良い思い出です。東洋の魔女の活躍があつてこそその経験です。

2年後の東京オリンピック開催に向けて、本校では、オリンピック・パラリンピック教育を進めています。その一環として、昨年引き続き、9月18日、水球女子の日本代表チームの選手6名を含む秀明大学の選手18名が来校くださいました。（秀明大学水球部は、学生チャンピオンチームです。）本校の中村主任教諭が高校時代、水球部のマネージャーを務められていたことのご縁によるものです。2、3、4、6年は選手を教室にお招きし、一緒に給食をいただき、その後、体育館で集会を開催。チームの皆さんを、全校児童が応援しました。そして、プールでは3年生が代表でご指導を受けることができました。選手の泳ぎ技術を見せていただいた後、日の丸のマークがついた水球キャップをかぶり、「アクアゲーム」を楽しみました。第1線のアスリートの皆さんの泳ぎに驚き、丁寧に教えてくださる優しさに憧れる、素晴らしいひと時を過ごすことができました。水球という競技を知らなかった子どもたちも多かったようですが、「やってみよう」「楽しい」という、これからの行動につながる感想をもった子どもが多くいたことが嬉しいことです。今回、来校くださった選手の多くは、東京オリンピックでの活躍が期待されています。全校を上げて、情熱的に応援させていただきたいと思っております。

オリ・パラ教育は、2020年の大会を成功させるためのものではなく、上記のように子どもたちのこれからの活かすものでなければならないのです。東京都では、知・徳・体の調和のとれた幼児・児童・生徒の育成を目指し年間35時間程度の学習を行っています。各教科等の学習内容や学校行事等の取り組みを「4つのテーマ」×「4つのアクション」と関連付け、特に品川区では、下図のように「本区の子どもたちに育てたい5つの資質」を取り上げています。



10月、11月には「大森貝塚の研究(4年)」、「伝統野菜 品川蕪の栽培(5年)」、「ASEAN 留学生との交流(3年)」、「茶道教室(4年)」等が予定されています。今後、全校の取組として、ネパールとの文化交流(たまごプロジェクトの実施)も継続していきます。一つ一つの活動が子どもたちの心の中に、社会に貢献するためのレガシーとして残るものとなるよう、意識して指導にあたってまいります。

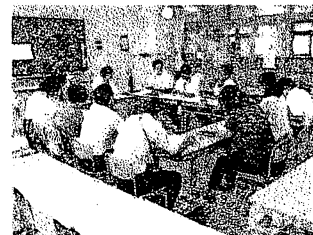
## 「三校合同研修会」報告

※三校合同研修会の様子を本校皆様にお知らせするために、伊藤学園の担当齋藤副校長に記事を書いていただきました。

伊藤学園 副校長 齋藤 泰弘

連携校である伊藤学園・山中小学校と、毎年恒例の三校合同研修会を8月30日に実施いたしました。今年度は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会や新学習指導要領の実施を踏まえ、次のようなテーマで7つの分科会に分かれ、各校の取組や課題等について意見交換を行いました。

- ①安全教育（生活安全・交通安全・災害安全における取組）、②情報モラル教育（SNSの適切な使い方）、③特別支援教育（特別支援教室との連携、合理的な配慮に関わる取組）、④連携行事（三校合同市民科授業や6年生体験授業の実施に向けて）、⑤学年行事（コミュニティ・スクールとの関わり）、⑥ICT教育（タブレット端末・プロジェクター・デジタル教科書の活用）、⑦オリ・パラ教育（競技体験教室・世界ともだちプロジェクト・オリパラコーナーにおける取組）



この研修会では、意見交換を通して、教育活動の工夫改善や授業技術・指導力の向上を図ることを目指しています。しかし、まず大切なことは、連携3校の教職員同士顔見知りになり、親睦を深めることではないかと思えます。このことによって、3校の全教職員で協働・連携して指導にあたり、地域の子どもたちの健やかな成長を促すことができると考えます。話し合いの中で笑い声がしばしば起こったり、研修会が終わった後も個人的に意見交換の続きを行ったりと、和気あいあいとした研修会になりました。この研修会で学んだことを各校にもち帰り、2学期からの教育活動に活かすとともに、今後も様々な機会を通して、3校の連携を深めていきたいと思えます。

## 3年「水球体験教室」

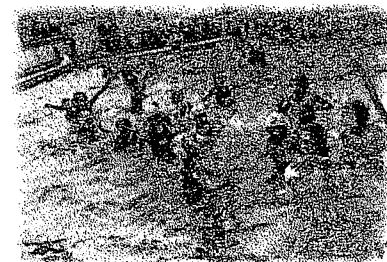
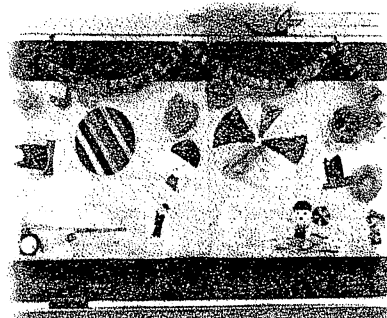
3年担任 中村 香織

今年度も3年生で水球体験教室を行いました。関わった皆様にはお世話になり心より感謝申し上げます。子どもたちが水球を通して生涯スポーツを楽しんでほしいと願っています。

体験教室では、選手の迫力あるエキシビジョンを観た後、チームに分かれてアクアゲーム、最後は選手と泳ぎの競争を楽しみました。

女子選手の皆さんから「子どもたちと交流し、貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。」というメッセージを頂きました。選手たちにとってもリフレッシュできる機会だったと思います。3年生の子どもたちが、選手たちへ心を込めてお礼のお手紙を書きました。一部をいくつか紹介します。

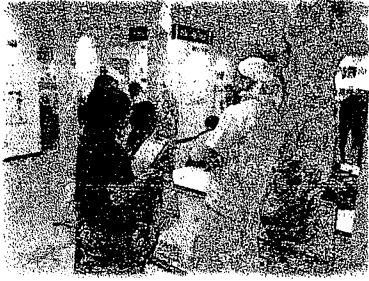
- ・試合中ずっと浮いているのはすごいです。初めてだったので、緊張していました。アクアゲームをやると笑顔になって緊張がなくなりました。私も選手のみなさんみたいになりたいです。
- ・一緒に給食が食べられて嬉しかったです。また選手の皆さまに会いたいです。
- ・オリンピックに出られるようなすごい選手と会えてうれしかったです。
- ・水球のいろいろなことを学んで、2020年オリンピックにも選手が出ることを校長先生に聞きました。応援しています。
- ・これからオリンピックに向けて金メダルをとれるようにがんばってください。



※水球体験教室の様子はケーブルテレビ品川で放送される予定です。

## 「お肉の情報館」見学

5年担任 大芦 眞之介



18日(火)5年生は「お肉の情報館」見学に行ってきました。子どもたちは、野菜や果物、魚はどこで作られ、どのようにして自分たちの食卓に届くのかは知っていても、お肉についてはほとんど知りません。そこで、牛や豚を解体してお肉にする仕事をしている人がいることなどを事前に学習し見学に出かけました。

「お肉の情報館」では、DVDで本物の牛や豚が解体されて、お肉になるまでの作業の様子を映像で見ました。実際の映像に思わず下を向いたり、顔を背けたりした子どももいましたが、静かに、そして真剣に学ぼうとする気持ちが伝わってきました。また、資料の展示室では、

職員の方々を囲んで子どもたちが次々と質問をしたり、話を聞いたり熱心に学習する様子が見られました。人権同和問題にも目を向け、私たちの食を支える仕事として、正しく理解しようと真剣に問題を捉えることができました。

子どもたちの感想には、「お肉をつくってくれる人たちに感謝したい」「安全にお肉が届けられるように衛生管理がしっかりしていて安心した」「私たちが生きるために必要な仕事をしてくださっているのに差別的な発言はしてはいけない」「お肉がおいしく食べられるのは、食肉市場できれいにしているからおいしく食べられるのに、文句を言う人たちがいることが残念でした」等とあります。私たちは、生きるために食べています。改めて食材やそれらを作ってくれている人々に感謝すること。また、どんなことも正しく知ることが大切であること…子どもたちの心の中にきっと残ってくれたと思います。

## 「赤ちゃんふれあい」活動

保健委員会担当 北條 宗子

保健委員会では、大井倉田児童センターと一緒に毎年「赤ちゃんふれあい活動」を行っています。活動は年3回行います。今年度は1回目を7月6日に行いました。

この日は、赤ちゃんと同じ大きさの赤ちゃんと、赤ちゃんの成長の仕方を学んだ後、首の座っていない赤ちゃんの抱き方、どうやったら赤ちゃんが心地よくさせるのか、声のかけ方、遊び方を学習しました。そして、2回目9月7日からは、本当に赤ちゃんとお母さん方が来てくださいました。2回目が終わりましたが、



それはそれは、温かな幸せな時間が流れました。どのグループも5、6年生の子どもたちが優しく赤ちゃんに声をかけ、そっと抱き上げていました。ファシリテーターさんの誘導で委員会の子どもたちも自分の赤ちゃんの頃を思い出したり、名前の由来を発表したりしました。終了の時刻になっても別れ難そうで、委員会の子どもたちは、とても穏やかな優しい表情になっていました。みんな3回目の12月7日を楽しみにしていて、さらに交流が深まることと思います。



## 「着衣水泳」体験

6年担任 村上 剛

9/13(木)5、6校時に6年生は着衣水泳を行いました。通常の水泳の学習と違うところは、長袖のシャツと長ズボン、靴を履いているところでした。通常通り、井口先生の指導のもと、プールの横を使って、パタ足で進んでみたり、クロールや平泳ぎで泳いでみたりしました。子どもたちの反応は、「重くて泳げない!!」や「思ったより進まない!!」という声が多かったです。

さて、「着衣水泳」を行う意図はなんでしょう。

洋服を着て、泳ぐことではありません。まずは、生きるための術を学ぶのです。川遊び中に何かが起こったら、冷静に対処できるでしょうか。それを学ぶのです。

「洋服を着て泳ぐのは大変だ。だから呼吸を確保できるように浮こう。」と考えられるように、授業を行うのです。

今回の授業では、仰向けで浮くこと(最初、洋服の重みで沈むのですが、浮いてくるまで我慢して待つこと)、ペットボトルを使って浮く方法(抱いたり、枕のように使ったり)を子どもたちは学びました。最も印象的だったのが、1年生の頃から水泳の学習でたくさん練習した「くらげ浮き」が一番浮きやすいということです。大-ABCのモットーである「当たり前のことを馬鹿にしないでちゃんとやる」が大事であると分かりました。



年間重点生活目標「正しい姿勢を意識して生活しましょう！」

今月の生活目標

生活のめあて	身の回りの安全に気をつけましょう
保健のめあて	自分の体のことを知りましょう
給食のめあて	後片付けをきちんとしましょう



# 10月の行事予定

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	月	都民の日	17	水	連合体育大会予備日(6年) 貝塚公園見学(4年)
2	火	避難訓練	18	木	生活科見学(2年)
3	水	茶道教室(4年)			
4	木		19	金	音楽朝会
5	金	体育朝会 お店見学(3年) 委員会	20	土	鹿島神社大祭 滝王子保育園運動会
6	土	学校公開 安全指導	21	日	鹿島神社大祭 同窓の集い 11:00-15:00
		自転車教室(3年) 情報モラル教室(5年) 平成31年度学校説明会(10:30~11:30) レットライ「手話にトライ」(14:00)			
7	日		22	月	全校朝会
8	月	体育の日	23	火	連合音楽会(4年)
		あけぼの幼稚園運動会	24	水	
9	火	生活科見学(1年)	25	木	プラネタリウム見学(4年)
10	水	品川歴史館見学(4年) 午前授業	26	金	体育朝会
11	木	フレンドタイム			
12	金	児童集会	27	土	土曜授業 体育朝会 ASEAN国際授業(3年) PTAマジックショー(14:00)
					28
13	土	PTA役員・実行委員会	29	月	全校朝会
14	日				30
15	月	全校朝会	31	水	午前授業
16	火	連合体育大会(6年)			

資源回収	10月12日
エコキャップ回収	10月10日
校庭開放	10月14日
	10月28日

生活指導部より

## 身の回りの安全に気をつけましょう

生活指導部 宮田 崇

避難訓練は、地震や火災以外にも、様々な危機を想定して行っています。先月の避難訓練は、不審者対応訓練でした。夏季休業中の間に、大井警察署の方を本校にお招きして教職員に不審者対応の指導をしていただきました。そして実施した避難訓練では、校内放送で駆けつけた教職員が不審者役の警察の方を説得し囲みながら校内を巡回しました。私もさすまたをもって対応しましたが、どのクラスの子どもたちも教室の窓から姿が見えないようにとても上手に避難し隠れていました。警察の方も訓練後の反省会では、その点を一番褒めてくださいました。不審者に余計な刺激を与えないように身を護ることはとても大切との事でした。そして今月の避難訓練は、校内に危険が迫った時を想定しての2次避難を行います。地震や火災が起きたら、最終的に校庭に避難しますが、さらに校外に出て避難するという訓練です。どの訓練も「身の回りの危険を察知し、安全に気をつける」という意識を高くもって、訓練に取り組んでいきます。

## リレーコラム「かかわる・創る」

3年担任 二本 亘

3年生の子どもたち。仲良く過ごしている時もあれば小さなことからめ事に発展することもあります。また、自分たちで上手く解決することもありできなかったり……。「自分のことを中心に考えていた時期から、人のことを考え始めることができる。」そんな成長段階の子どもが入り混じっている時期だからこそ、3年生に必要なことは、友達との関わりで、価値観の違う他者を認め、受け入れる心が育つ時だと考えています。いろいろな友だちと遊び、勉強し、時にはもめるのもいいでしょう。多くの人と関わることがきっと子どもたちの心の伸びしろを大きくしてくれます。たくさんの友だちと関わり、たくさんの信頼関係を創り出せる活動をたくさん取り入れていきたいと思ひます。